

2015年4月27日

沖縄が変わる OKICA で変わる
沖縄県初の交通系 IC カード「OKICA」(オキカ)、4月27日よりバスでも運行開始
グランドオープン記念で全国初のフィギュア付 OKICA「花笠マハエ」を限定発売

沖縄 IC カード株式会社

沖縄県内での交通系 IC カード「OKICA」(オキカ)を取り扱う沖縄 IC カード株式会社(本社:那覇市、代表取締役社長:仲吉 良次)では、2014年10月の沖縄都市モノレールでの運用開始に続き、4月27日(月)より本島内路線バス4社(那覇バス・琉球バス交通・沖縄バス・東陽バス)の路線バスでの運用を開始します。

沖縄県は全国でも極めて高い自動車依存型社会で、県内の主要道路では交通渋滞が日常化しています。公共交通利用転換に向けた利用環境改善策の一環として、沖縄独自の交通系 IC 乗車券システムを導入することとなったものです。

昨年10月の運用開始から約5ヶ月で当初目標の106%に達する3万6千枚を突破するなど販売は好調。今回県内の公共交通機関の主役であるバスでの運用開始により、スムーズな支払いによる乗降時間の短縮や OKICA カード1枚でモノレール・バス両方での運賃支払いが可能となるなど、本島内での公共交通がますます便利になることが期待されます。

またグランドオープン記念として、フィギュア付 OKICA「花笠マハエ」を5000個限定発売します。これは、ICチップを格納したフィギュアを改札機・運賃箱にタッチすると運賃精算にご利用いただけるもので、フィギュア型の交通系 IC は全国初の試みとなります。キーホルダーやディスプレイなど、利用者を楽しんで使ってもらうほか、沖縄観光のお土産としても活用してもらおうことを目指しています。

運用開始となる4月27日(月)には、沖縄県庁前県民広場にて、グランドオープンセレモニーを実施するほか、パレットくもじ横の階段に大型サインを掲出するなど、さらなる普及に向けた活動を進めます。

詳細は別添資料の通りです。

この件に関するお問い合わせ先

沖縄 IC カード株式会社

担当: 高嶺 綾

Tel: 098-859-4847

HP: <http://info.okica.jp>

別添資料

OKICA グランドオープン(バスでの運用開始)の概要

<運用開始日>

4月27日(月)始発より

<導入会社>

沖縄本島内バス4社(那覇バス・琉球バス交通・沖縄バス・東陽バス)の路線バス(定期観光バス、リムジンバスは除く)
※沖縄都市モノレール(ゆいレール)は平成26年10月より導入済。

<サービス内容>

1)スムーズな支払い

バスの乗降車時にOKICAカードをカード読み取り部にタッチするだけで、スピーディに精算が完了します。

2)車内でチャージが可能

モノレール駅窓口および券売機、バス営業所・券売所のほか、バス車内でもチャージが可能です。(1000円単位で最高30,000円までのチャージが可能。ただし1回の操作でのチャージ上限額は10,000円まで)

3)紛失しても再発行が可能(記名OKICAのみ)

4)利用に応じたポイントサービス

バス4社の合計月額利用金額に応じて、乗車運賃に使えるポイントを付与するポイントサービスを新たにバスでも開始いたします。

5)バス・モノレールでの利用が可能

OKICAカード1枚で、モノレール・バス両方での運賃支払いが可能となります。

<販売場所>

モノレール駅窓口および券売機、バス営業所および券売所に加え、沖縄ファミリーマート店頭(無記名OKICAのみ)でも取扱いを開始します。



フィギュア付 OKICA「花笠マハエ」の概要

OKICA グランドオープンを記念して、全国初となるフィギュア付 OKICA「花笠マハエ」5000 個を県内のファミリーマート各店にて、限定発売します。

このフィギュア付 OKICA は、IC チップを格納したフィギュアを改札機・運賃箱にタッチすると運賃が精算できる新しいタイプの IC 乗車券で、キーホルダーやディスプレイとしても楽しめるため、沖縄観光のお土産としても最適です。

フィギュアモデルである「花笠マハエ」は沖縄観光親善使節として、県内外のイベントや PR ツールに活躍中のキャラクター。「OKICA 推進大使」にも就任しています。

製品名： フィギュア付 OKICA「花笠マハエ」(はながさまはえ)

販売者： 沖縄 IC カード株式会社

販売開始時期： 2015 年 4 月 27 日(月)

販売場所： 沖縄県内ファミリーマート各店 ※一部、取扱いのない店舗があります。

※4月27日にはモノレール県庁前駅、4月29日にはモノレール那覇空港駅に特別販売ブースを設置します。

想定需要： 観光客へのお土産品のほか、県内での交通利用

製造個数： 5,000 個限定。(追加製作は予定しておりません)

売価： 2,000 円(税込み、プレチャージ 500 円を含む)

サイズ： W:40mm×H:64mm×D:68mm(台座含む)

利用方法： IC チップをフィギュアにセットしたまま、改札機・運賃箱にタッチして運賃精算ができます。沖縄県内のゆいレール駅窓口、バス営業所窓口、バス車内の運賃箱でチャージが可能です。

キーホルダーやディスプレイとしても楽しめます。

機能： 基本は無記名 OKICA カードと同じ取扱いですが、一部異なります。



項目	無記名 OKICA カード	フィギュア付 OKICA
デポジット(保証金)	要	不要
乗車利用	可	可
ポイント付与・還元	可	可
定期券機能	可(記名 OKICA へ変更)	不可
再発行	不可	不可
払戻し	可	不可

交通系 IC カード「OKICA」(オキカ)の概要

沖縄県内のモノレール(ゆいレール)・バスで乗車券として利用できるICカードです。パッと取り出して、ピッ！っと精算。出勤・通学・お出掛けがスムーズに快適になります。

<名前の由来>

「OKICA」(オキカ)は「OKINAWA IC CARD」(オキナワ IC カード)の略称で、沖縄で利用できる IC カードという意味です。また、沖縄で初めて交通系 IC カードが導入されることにより、「沖縄の暮らしが変わる(オキナワがかわる)」という意味も含まれます。

<導入の目的>

沖縄県は、全国の中でも極めて高い自動車依存型社会が形成され、国道 58 号をはじめとする県内の主要交通では交通渋滞が日常化しています。

沖縄県では、過度な自家用車利用から公共交通利用への転換を目的として、路線バスをはじめとする公共交通の利用環境改善に取り組んでおり、その一環として IC 乗車券システムを導入することになりました。

<これまでの経緯>

平成 24 年 7 月

モノレール、バス 4 社、県等により委員会を組織し、導入検討を開始。

平成 25 年 8 月

モノレールおよびバス 4 社が IC 乗車券システムの導入に基本合意。

平成 25 年 11 月

参画事業者の出資により、システム管理運営を行う「沖縄 IC カード株式会社」を設立。

平成 26 年 1 月

IC 乗車券の名称およびデザインの決定。



平成 27 年 10 月

モノレールにて先行サービスの開始。

平成 27 年 4 月

バスも含めた本格サービスの開始。